が十四の時に作った詩

頼山陽

〈原文〉　　　　〈現代語訳〉

十有三春水　十三年のが過ぎてしまった

逝者已如水　過ぎ去った時は戻らない

天地無始終　無限の宇宙に比べて

－41－

－

人生有生死　人の命には限りがある

安得類古人　どうか、昔のやのように

千載列青史　永久に歴史に残る人物になりたい